2015年度の総括

●活動状況
当会で行われた山行日数は200日と前年の231日よりはやや減少しましたが、計画書が提出された総山行日数は273日（前年は306日）と相変わらず活動が活発な年でした。
ジャンル別に見ると、山スキーが38日と昨年並み、昨年山スキーと拮抗していた雪山はやや減少し22日となっています。沢登りは60日と例年通り最も山行日数が多く、登攀は0日でしたが冬期バリエーションはメンバーは多くはありませんが一定の活動が継続されています。

●例会の活用状況
例会での机上講習や勉強会は今期はおこなわれませんでした。

●訓練について
会で主催した訓練山行は行われませんでしたが、個人山行で12月に雪訓が２回行われています。

●事故報告
一昨年は小事故が多発した年でしたが、昨年はその対策の成果か事故の少ない年でした。
下記の１件事故報告があります。
2015.05.30　三ツ峠 屏風岩 一般ルート基部にて砂沢さんが心筋梗塞を発症
この件については労山新特別基金を使用しました。
当会も高齢化が進みこのような事例も人事ではない状態だと思います。万が一そのような事態になった場合に正しい対処が出来るように周到に準備する必要があるでしょう。